

8.平成18年LPガス事故の概要

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/1/27	神奈川県 川崎市	爆発 重傷者 1 (男性51) 軽傷者 2 (男性26、 女性27)	飲食店 鉄筋コンクリート造3階 建	15:40	一般消費者等	8kg容器の残量が少なくなり、ガス発生量を確保するため、湯を張った大きな鍋にお湯を入れて温めていたところ、容器からガスが漏れる音がしたので、鍋から取り出して床に置いた直後に爆発した。 (質量販売 8kg容器×2本)	容器の過熱	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/1/30	山梨県 北杜市	爆発 軽傷者 1 (男性39)	その他 (スポーツ施設) 鉄筋コンクリート造 2階建	17:10	一般消費者等	厨房で従業員がオープンの4ヶ所に種火を点火する際に一度に4つある器具栓を開けて点火操作を行った。そのときに4つ目のオープンの種火の点火しようと扉を開けたところ、この間に漏れていたガスに引火、爆発した。	点火ミス	・ガス漏れ警報器あり (電源切り) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	
2006/2/1	山梨県 大月市	爆発 重傷者 1 (男性55)	飲食店 木造2階建	7:30	一般消費者等	こんろに点火したのが何らかの原因で立消えてガスが漏れ出し、その後、瞬間湯沸器に点火した際に漏れいていたガスに引火爆発した。	こんろの立消え	・ガス漏れ警報器あり (検知できないガス量) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	
2006/6/9	千葉県 千葉市	酸欠 軽症者 2 (女性年齢不明)	飲食店 鉄筋造1階建	9:00	一般消費者	事故当日9時頃からベーカーリー厨房内のオープンでパンを焼き始め、約30分くらいして気分が悪くなり救急車にて病院に搬送された。検査の結果、軽い酸欠状態と診断され、念のため一晩入院し翌日退院した。 換気扇のスイッチを入れずにオープンを使用していたため換気不良により不完全燃焼が起きたものと推定される。	換気不良(オープン)	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・ガス漏れ警報器連動 自動ガス遮断装置あり	(行政指導等) ・販売業者に対し立ち入り検査実施
2006/7/19	長野県 塩尻市	火災	一般住宅 木造1階建	20:00	一般消費者等	消費者の幼少の娘が、風呂釜の点火ボタンを押したが浴槽が空だったため、風呂釜が加熱され循環ホースが燃え始めた。消費者が気づき当該部分に布をかけて消火した。なお、風呂釜の過熱防止装置、空だき防止装置は作動しなかった。	風呂釜の空だき	・ガス漏れ警報器あり (鳴動せず。検知区域外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンあり ・過熱防止装置、空だき防止装置あり	(行政指導等) ・風呂釜製造メーカーに対し、安全装置不動作の調査を依頼

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/1/12	神奈川県 藤沢市	漏えい	教育施設 鉄筋コンクリート造3階 建	11:50	一般消費者等 販売事業者	消費者から「ガス臭い」という通報があり、販売事業者が現場に駆けつけ、ガス器具の全ての器具栓を閉止した。ガス器具の器具栓を全て閉止したにもかかわらずガスメーターが動いていたため、配管からの漏えいを想定し、容器バルブを閉止した。ガス検知器により地下配管ビットの調査を行ったところ、男子更衣室地下ビット蓋の隙間においてガス検知器の反応を確認した。そのため、防爆型排風機により屋外へ排出した。並行して系統ごとに配管の気密試験を行い、漏えいしている配管系統を特定した。 翌日、漏えい箇所が埋設管が建物内に入る基礎貫通部付近からの漏えいとわかったため、基礎貫通部付近の土壌に穴を掘り、排風機により排気した。 基礎貫通部付近は、ソケットとニップルを用いてビット内配管と埋設管が接続されており、漏えいはビット内配管とソケットとの接続部分から発生していた。当該接続部の配管ねじ切り部分に円弧状の亀裂が生じており、地盤沈下による応力がねじ切り部分にかかったことにより折損したものと推定された。またマクロセル腐食による減肉も見られ、折損の間接的原因になっているものと思われる。	配管(埋設管)の損傷	・ガス漏れ警報器あり (検知区域外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	(行政指導) ・販売事業者に対し、ビット内のガス排出、ガスの滞留範囲の確定、ガス滞留している地点からのガス排出作業及びガス濃度の変化を監視するよう指示した。 ・当該施設の管理者に対し、二次災害防止措置と消費設備の改善を行うよう文書で指示した。 ・神奈川県エルピーガス協会に対し、地下埋設管に係る漏えい防止について会員指導を文書で通知した。
2006/4/4	千葉県 千葉市	漏えい火災 軽傷者 3 (男性44.55, 女性年齢不明)	その他店舗 テント	19:30	一般消費者等 販売事業者	19:30頃、屋台(屋外)に設置されていた一口コンロ(揚物用)に接続されていたゴムホースを調理していた男性従業員が誤って足で踏んでしまいコンロ側のゴムホースが外れ、隣で調理をしていた焼物用調理器の火が引火し、男性従業員2名と客1名が火傷を負った。 販売事業者は、周知及び消費設備の調査を実施していなかった。 (質量販売 10kg容器×3本)	ゴム管の接続不良(外れ) <法違反> ・法第27条第1項第2号違反(調査未実施) ・法第27条第1項第3号違反(周知未実施) ・規則131条第1項、第2項違反(帳簿未記載)	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓なし ・マイコンなし	(行政指導等) 販売事業者(保安機関)に対し、規則131条第1項、第2項に規定する帳簿の記載及び法第27条第1項第2号、第3号に規定する消費設備の調査遅れ及び周知を怠っていたことに対する改善、及び4月28日までに改善計画を提出することを文書で指示した。
2006/1/26	東京都 日野市	漏えい	一般住宅 (集団供給)	18:20	販売事業者	ガス臭がすると通報があったため、担当者が緊急出動し、ガス漏れ検知器で調査したところ、ガス漏れを確認した。漏えい箇所の特定ができなかったため埋設管によるガス供給を停止し、応急措置として供給先に個別先に容器を設置して供給することとし、容器設置後、漏えい検査を実施して漏れないことを確認して供給を再開した。 埋設管は設置後、30年以上経過しており、経年劣化による腐食が進み、供給管の一部からガスが漏えいしたものと推定される。 (バルク貯槽 980kg×1基)	供給管(埋設管)の腐食	なし 集団供給の供給設備	
2006/2/17	新潟県 上越市	漏えい	旅館 鉄筋コンクリート造 8階建	11:00	販売事業者	近隣住人がガス臭に気がつき、都市ガス事業者へ通報した。都市ガス事業者が調査したところ、(旧型)バルク容器の供給設備から漏えいしていたため、消防及び液化石油ガス販売事業者へ連絡した。 販売事業者が調査をしたところ、(旧型)バルク容器から蒸発器間の配管に設置してある安全弁から漏洩しており、元弁の閉止で漏洩が止まった。原因は、放出管内に水が溜まり、これが凍結して安全弁の弁体を押し上げるように作用したためと分かった。 放出管に水が進入した原因は不明である。 (旧型バルク容器 2,500kg×1基)	安全弁の凍結	・ガス漏れ警報器あり (漏えい箇所が屋外) ・ヒューズガス栓あり ・ガス漏れ警報器連動 自動ガス遮断装置あり	(行政指導等) 販売事業者に対し、同様な部分の点検の実施について口頭で指導した。

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/2/21	長野県 長野市	漏えい	共同住宅 鉄骨造2階建	15:30	販売事業者	共同住宅の住人からガス臭がすると消防へ通報あり、連絡を受けた保安機関(販売事業者)が出動し、ガス検知器で調査したところ調整器上部でガス漏えいの反応があった。調整器の劣化により漏えいしていたものと考えられた。(平成8年1月設置)	調整器の劣化	・ガス漏れ警報器あり (漏えい箇所が屋外) ・ヒューズガス栓なし ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売事業者に対し、他の期限切れ調整器の交換、点検時の記載漏れ防止の社員教育を口頭で指導した。
2006/3/5	茨城県 土浦市	爆発 軽傷者 1 (女性)	一般住宅 木造	20:30	販売事業者	事故前日16時頃に消費者から「2,3日前からガス臭い」と通報が販売事業者にあったが、当日に容器交換を行っていたことから、そのための異臭と判断してその旨を説明するとともに2,3日様子を見るように伝えた。事故当日、被害者の夫から「ふるがまに点火したところ爆発を起こして妻が手の甲にやけどを負った」と販売事業者へ通報及び苦情が訴えられた。調査したところ、BF式ふるがまの内部の配管に亀裂が生じており、ガスが漏えいしていた。	ふるがまの劣化(損傷)	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	緊急時対応を適切に行っていなかった(法27条違反)ことから、販売事業者(保安機関)に対して産業保安監督部長名で嚴重注意文書発出。
2006/4/26	神奈川 相模原市	漏えい	共同住宅 木造2階建	21:30	販売事業者	通行人から「ガス臭い」との連絡が入り、消防、警察等が出動した。調査の結果、使用側容器と高圧ホースの継手部からカニ泡程度のガスが漏れいしていることを確認し、全ての容器のバルブを閉止した。事故原因は、高圧ホースの容器側Oリングの損傷及び摩耗によるシール性能の劣化。	高圧ホースの劣化	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/4/28	神奈川 横須賀市	漏えい	その他店舗 鉄骨造1階建	6:00	設備工事業者	3月14日、20kg容器2本設置、単段式調整器で供給していた設備を、自動切替式調整器で供給する設備に変更し、併せて供給管の部分改善工事を実施したが、気密試験を行わずに作業を終了した。事故当日5時50分頃、隣人から「ガス臭いのではないかと」消防に連絡があり、同日6時、消防から販売事業者へ連絡が入り現場に出動した。現場には、消防、警察等が出動しており、容器バルブが閉止されていた。調査の結果、自動調整器下部のドレンプラグからガスが漏れいし、マイコンメータには微少漏えい警告が表示されていた。なお、ドレンプラグをモンキースパナで締付けた後、気密試験を実施したところ漏えいがないことを確認した。	施工不完全(供給管)	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売事業者に対し改善計画(報告)書を提出することを口頭で指示した。 (工事施工マニュアル、チェックリストの制定と保安教育の高度化等)
2006/7/7	栃木県 真岡市	漏えい爆発 軽傷者 1 (女性64)	一般住宅 木造2階建	19:10	設備工事業者	事故当日15:00頃、消費者宅でキャビネット組込式コンロの取付作業を実施した。その際、金属フレキ管接続に係るネジ締付け不足によりガス漏えいが発生した。19:30頃、消費者がガスコンロを点火したところ炎が上がり、消費者が右手首に軽い火傷を負った。	金属フレキ管接続ミス	・ガス漏れ警報器あり (鳴動せず。検知区域内。探知できない位置、ガス量) ・マイコンあり	(行政指導等) 作業手順の再確認と指導の徹底を販売事業者に対し、口頭で指示した。
2006/7/12	千葉県 印旛市	漏えい	共同住宅 鉄骨造	9:20	設備工事業者	共同住宅近隣の住人がガス臭いと消防署に連絡し、消防署職員が現場に出動した。消防署職員は、容器のバルブを閉止した後、販売事業者に連絡した。9:48頃、販売事業者が現場に到着して漏えいの原因を調査したところ、ガスメータからの漏えいと判明し、修理を行った。なお、ガス漏えいの原因は、5月27日にガスメータを交換した際に、ガスメータを取り付けるユニオンのパッキンの装着忘れ。	ガスメータの交換ミス (ユニオンパッキン未装着)	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓なし ・マイコンSなし	

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/6/28	神奈川県 相模原市	漏えい	共同住宅 鉄筋造2階建	16:12	器具メーカ	消費者からガス臭いとの連絡を受け消防職員が現地に行ったところ、流量検知式切替型漏えい検知装置表示部ガラス面からガスが漏えいしていたためバルブを閉めた。事故原因は、流量検知式切替型漏えい検知装置の不具合。	流量検知式切替型漏えい検知装置の不具合	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・製造メーカに対し、原因調査及び 国への報告を指示した。
2006/7/22	埼玉県 三郷市	漏えい爆発 重傷者 1 (女性42)	一般住宅 木造1階建	8:20	器具メーカ	事故当日8:20頃、消費者が風呂釜のシャワーを使用するため、風呂釜に点火しようとしたところ突然爆発した。8:45頃、消費者宅の大家から販売事業者に対し、当該事故の連絡が入った。9:10頃、販売事業者が現場に到着した。この時既に、消防・警察が到着しており、容器バルブは閉められていた。調査の結果、浴室のBF風呂釜に金属フレキ管(40cm)により接続してあったフレキガス栓からのガス漏えいと判明した。ガス漏えいの原因は、フレキガス栓の腐食。なお、当該フレキガス栓は、浴室内の水のかかる場所に設置してある場合、亜鉛ダイカストに腐食が発生し、ガス漏れが生ずる恐れがあることから、製造メーカは、無償で耐湿性のあるボール弁タイプの可とうガス栓に交換を実施している。	フレキガス栓の腐食	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・販売事業者から、当該事故と同様の設備形態を有する他の消費者宅(15件)を調査したところ、同型フレキガス栓からガス微少漏れ1件が発見されたとの連絡が入り、その旨を開東東北産業保安監督部保安課に連絡した。 ・開東東北産業保安監督部保安課から事故が発生した同型フレキガス栓は、浴室内の水のかかる場所に設置してある場合、亜鉛ダイカストに腐食が発生し、ガス漏れが生ずる恐れがある旨を周知した。また、当該フレキガス栓製造メーカは、無償で耐湿性のあるボール弁タイプの可とうガス栓に交換を実施
2006/1/5	新潟県 十日町市	漏えい	店舗 鉄骨造2階建	19:00	雪害	消防にガス臭がすると通報があり、当該店舗にも調査に訪れた。ちょうど、販売事業者の従業員が昼頃から気化器の点検のためバルク貯槽の弁類を閉めて作業を行い、少し前に開けたところであった。消防署員の要請によりガスメーターを確認したところ、過大な流量を示していたため、ガス漏れと判断してバルブを閉止した。翌日、屋上の配管付近の積雪を除雪して調査したところ、積雪の荷重により配管接続部が折損しているのを発見した。 屋上に融雪装置が設置されており、また予算の関係から積雪対策が万全ではなかった。なお、融雪装置は揚砂量が多く、融雪むらが生じていた。 (バルク貯槽 980kg x 1基)	配管の損傷	・ガス漏れ警報器あり (バルク貯槽プロテクター内。) ・ヒューズガス栓なし ・ガス漏れ警報器連動自動ガス遮断装置なし	(行政指導) ・販売事業者に対し、豪雪地域にある供給設備の雪害対策を再確認するとともに、消費者に対しては、雪害対策が十分でない消費設備に適切な雪害対策を行うよう要請して、事故防止に期することを文書(「液化石油ガスの事故防止について(通知)」)で通知した。
2006/1/11	新潟県 中魚沼郡	漏えい	一般住宅 木造2階建	17:30	雪害	積雪で塞がっていた建物の出入口をあげようと小型ショベルカーで除雪していたが、誤って出入口付近に設置されていた容器にショベル先端にあたり、容器胴板が破損してガスが漏えいした。 ガスが積雪に遮られて拡散されなかったため、除雪を行うとともに消防機関が送風機を用いて床下に滞留したガスを拡散させた。	容器の損傷	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/1/14	長野県 長野市	漏えい	介護老人福祉施設 鉄筋コンクリート造3階建	18:00	雪害	屋根からの落雪(氷塊)が容器(50kg x 18本)のヘッダーに当たり、ヘッダーの配管部が損傷し、ガスが漏えいした。	ヘッダーの損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	(行政指導) ・関係団体に対し、液化石油ガス事業者等に係る寒波・雪害対策の徹底について文書にて通知した。(1月11日、2月2日) ・大雪によるLPガスの雪害注意喚起を県HPに掲載した。

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/1/22	神奈川県 川崎市	漏えい	共同住宅 木造2階建	9:00	凍結	住民から消防へガス臭がすると通報があり、消防から連絡を受けた販売事業者が現場に急行したところ、消防署員により容器バルブが閉められており、容器バルブを開くと調整器2次側から漏えいが認められたので調整器を交換した。 メーカーに原因調査によると調整器そのものには異常が無く、積雪、強風、低温等の気象条件により凍結したものと推定された。	調整器の凍結	・ガス漏れ警報器あり (漏えい箇所が屋外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/1/28	長野県 飯山市	爆発 軽傷者 1 (女性27)	一般住宅 木造2階建	19:10	雪害	居間の練炭こたつの火から引火・爆発し、居間の窓から供給設備付近でも火柱が見えたため、住人が雪をかけ消火後、積雪で埋もれていた容器を掘り出し、容器バルブを閉止した。豪雪のため、積雪と屋根からの落雪で居間の外側に設置していた供給設備は完全に埋没しており、雪の荷重によりガスメーター入口側の継手部に亀裂が入り、ガスが漏えいしていた。	ヘッダーの損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導) ・関係団体に対し、液化石油ガス事業者等に係る寒波・雪害対策の徹底について文書にて通知した。(1月11日、2月2日) ・大雪によるLPガスの雪害注意喚起を県HPに掲載した。
2006/1/28	新潟県 十日町市	漏えい	共同住宅 鉄筋コンクリート造2階建	16:30	雪害	コンロが点火しないと消費者から連絡があったため、設備の気密試験を行ったところ、漏えいしていることが確認された。詳細な漏えい箇所は不明だが、積雪による荷重により設備が損傷してガスが漏えいしているものと推定された。 雪解後、再度気密試験を行ったが漏えいしなかったため、雪に押されたことを再現する為バルブで押しながら試験したところ、メーター接続エルボからの微量漏洩があったが、事故発生時の気密試験の状況から、当時他の場所からも漏えいしていたが、積雪荷重が解消されて漏れていないものと思われる。 なお、次の降雪前に抜本的な対策を行う予定である。	漏えい箇所不明	・ガス漏れ警報器あり (漏えい箇所が屋外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/2/4	新潟県 十日町市	漏えい	共同住宅 プレハブ造	8:40	雪害	共同住宅の住人からガス臭がすると連絡があり、調査したところ談話室のガスメーターが積雪の荷重により斜め下方に引っ張られたため、ユニオン部が損傷してガスが漏えいしていた。 地震による応急仮設住宅の、普段使用していない区画であったため、除雪が適切に行われていなかった。	供給管の損傷	・ガス漏れ警報器あり (電源切り) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	・県は報道発表を行うとともに、豪雪対策本部は仮設住宅を管理している市町村に対し除雪状況の点検等管理の徹底を依頼した。 ・協会は、県及び(社)プレハブ建築協会からの要請を受け、仮設住宅の点検を行って報告するよう依頼した。
2006/2/11	長野県 長野市	漏えい	事務所 (解体作業中)	15:20	解体工事業者	集団供給に団地内の事務所の解体作業中、作業機械により誤って埋設管を損傷させたため、ガスが漏えいした。 当該事務所は16年前からガスの使用を停止しており、ガスメーターを取り外してメーター出入口の配管にプラグを施工してあったが、解体工事業者が容器がないことからそのまま建物ごと機械で解体作業を行ったため、埋設管を損傷させてしまった。	供給管(埋設管)の損傷	なし (ガス供給停止中)	
2006/3/27	茨城県 桜川市	漏えい	一般住宅 (事務所兼) 木造	16:30	他工事業者	隣接する家屋の解体作業中に、解体業者がパワーショベルで消費側の露出した配管フレキ(15A)を切断し、ガスが漏えいした。この際、S型マイコンメータの増加流量遮断によりガス漏洩は停止した。	配管フレキの損傷	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	

年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2006/6/8	埼玉県 入間郡	漏えい	一般住宅 木造2階建 2棟	15:00	他工事業者	同一敷地内に棟を別にする二世帯住宅がある、同一容器から供給管が伸び、途中で二手に分かれ各々の住宅のガスメータを通してガスを供給している。この棟は2m程離れており、この間で排水改善工事(埋設配水管の取り替え等)を実施しようとコンクリート面をサンダーにて切断中に、埋設ガス管を切断し、ガスが漏えいした。	埋設管(供給管)の損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/7/11	埼玉県 川口市	漏えい	一般住宅 木造2階建	10:25	他工事業者	事故当日10:25頃、県から水道管掘出工事中に工作機械によりガス管を破損したと販売事業者へ連絡した。当該販売事業者が10:35頃に現場に到着し、状況確認及び補修を開始した。10:55頃、ガス流出防止措置及び仮設配管処置を完了し、11:40頃、本官工事の復旧工事及び仮設配管撤去を完了した。水道工事業者(市の委託を受けて工事)には、市より事前にガス配管図面を渡してあったが確認されておらず、かつ、当該工事に販売事業者が立合う予定であったが、水道工事業者から事前に立合い依頼の連絡がなかった。	埋設管(供給管)の損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓なし ・マイコンなし	
2006/2/16	栃木県 日光市	漏えい火災	一般住宅 木造平屋建	20:00	不明	消費者が牛舎で作業中、多くな爆発音を聞き母屋裏手に駆けつけたところ、貯蔵設備(20kg容器2本)付近が燃えているのを発見した。近接の水槽からバケツにより消火作業を行うと同時に他の人が容器バルブを閉止し鎮火した。翌日、消費者から連絡を受けた販売事業者が現場を確認したところ供給管・配管からの漏えいは確認されなかった。 高圧ホースの容器接続側から約20cmの位置に立て17mmの亀裂があったが高圧ホースは火災により表面が焦げており、亀裂の原因が火災前のものか火災によるものかは不明である。	高圧ホースの損傷(損傷原因不明)	・ガス漏れ警報器あり(漏えい箇所が屋外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
2006/5/10	栃木県 日光市	漏えい	その他(容器庫) (集団供給)	15:17	不明	15:00頃、容器庫付近の住民からガス臭がするとして、消防と販売事業者に入電が入った。消防と販売事業者が現地に駆けつけると、23棟の住宅に供給する容器庫(50kg容器16本)内で、1本のサイフォン管容器の液取出しバルブが半回転ほど開放されていた。なお、開放された当バルブは供給管に接続されていなかった。 漏えいしたガスについては、自然拡散した(開放されたバルブは閉止)。 事故当日、容器庫の出入口は施錠されていること、容器庫屋根に穴が開いていることから、容器庫屋根の上からの物理的要因により開放されたものと推測される。ない、容器庫周辺で子供が遊んでいたことが目撃されており、子供のいたずらの可能性も推測される。	容器バルブの開放	・ガス漏れ警報器あり	(行政指導等) サイフォン容器から普通容器への変更及び容器庫屋根に乗らない旨を記載した注意書きの設置を指示した。
2006/6/15	埼玉県 川口市	漏えい爆発 軽傷者 1 (女性74)	共同住宅 木造2階建	19:05	不明(調査中)	消費者から風呂釜が爆発したので見に来てほしいとの連絡が販売事業者に入り、19時25分頃、販売事業者が現場に到着し、風呂釜からガスが微量漏洩しているのを発見した。販売事業者は、風呂釜の使用禁止の旨を消費者に伝え、閉止弁にプラグ止めをした。	風呂釜の劣化	・ガス漏れ警報器あり(検知区域外) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンあり	